

地勢

ノ時伊豆ニ屬シ延喜ノ後復駿河ニ屬シ北條氏割取シテ伊豆トシ駿河亞相駿城ニ在ス時庖廚料トシテ復駿河トナルと見ゆ

〔易林本節用集下〕駿河州上管七郡東西二日半山原野里皆均等也抱海帶山肥產多大中國也

〔駿河國新風土記〕駿河 河野通世撰述

此國東西を經とし南北を緯とす經凡二十二里餘緯凡二十里餘より七八里に至る山川田野程よく相錯れり驛路に三つの峻嶺あり宇津谷坂薩埵坂七難坂なり三の大河あり大河川阿倍川富士川なり是皆天然の要障なり國形は東西長うして南北短く前後廣うして中狹く千木の如くまた鼓に似れり西北に高山を負ひ東南に大洋を抱たるが故に國中おのづから暖和にして雪ふれども積らず氷ぬれども厚からず是以百穀善熟り菓菰早熟されば國富物豊にして俗文華を好む延喜式此國を上國の列に入れ風土記定穀上之上とす宜なるかなさて限るに山を以てし横に最を截ば遠江の國界より宇津の山に至る凡五里を第一截とす宇津の山より薩埵山に至る凡六里を第二截とす薩埵山より七難坂に至る凡四里を第三截とす七難坂より伊豆國の界に至る凡七里餘第四截とす限るに川を以てすれば大井川より阿倍川に至る七里を第一截とす阿倍川より富士川に至る凡八里餘を第二截とす富士川より伊豆の國の界に至る凡七里餘を第三截とすかく山と川と點綴してたとへば一匹錦の花紋列なるが如しこれ自然の形勢なり又縦に是を分ちて三路とす山中を上の一略とす其民良材を伐て桴を下し茶を製し紙を製し藥草を採などを業とす官道の中の一略とす逆旅亭茶店酒肆相連り逆旅亭長俗云本陣驛長俗云問屋驛老俗云年寄あり貧しきものは驛馬を驅せ行客の裝を荷ふをもて業とす海濱を下の一略とす魚鹽の利夥しく玄かのみならず通船運漕天下の諸國を比隣の如くするの便あり農は此三路の間に充滿して耕耘を勤む是民産業をなすの大略なり